



基準点網図の辺長は、球面距離とする。

有財産境界明示図等（接続明示）に接続する場合

境界点ナンバー（○：境界点種別、△：境界点ナンバー）

- ・境界点ナンバーは接続先の明示図の境界点ナンバーとする。
- ・境界明示種別の上一文字を測点番号の前に付ける。
- ・境界点種別とナンバーの間にピリオドを付ける。

既明示	：既○.△（資産管理課 既明示）
土地境界明示	：土○.△
道路区域明示	：道○.△
水路境界明示	：水○.△
市有財産境界明示	：市○.△
国有土地境界	：国○.△（平成17年以前） etc
※民有杭等	：K.△（民有杭等の場合はK点）

2 同一の境界明示種別に接続がある場合  
1 土○.△、2 土○.△等とする。

3 境界点の表示

- ・接続明示の境界点に接続する場合は、黒書き○印とする。
- ・接続明示の明示線上に境界点を新設する場合は、朱書き○印とする。

3点以上の公共基準点等を使用する  
※近傍に公共基準点等がない場合は  
資産管理課と協議する。

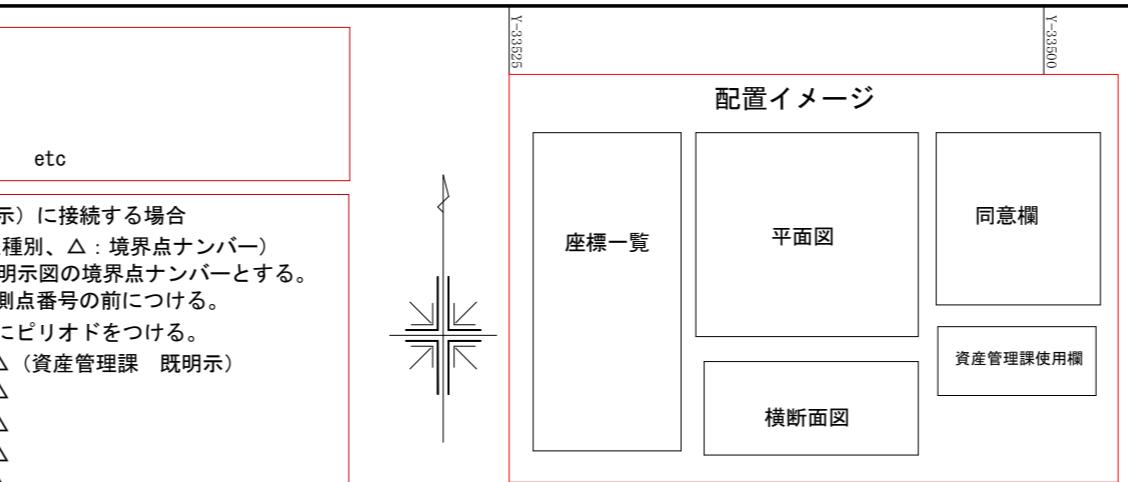
全国の標高成果の改定により  
標高成果が混在する場合は、  
基準面補正パラメータを使用し  
最新のものに統合する。

ジオイド2024使用)		長狹物の記載
高	種別	1 一括譲与財産は※印を表示し、 土地境界明示書下段に詳細を記載
0	既設 2級基準点	2 譲与財産以外の場合は 財産種別ごとの名称を記載 (市有道路敷、市有水路敷等)
0	既設 3級基準点	
0	既設 3級基準点	
0	既設 3級基準点	
0	4級基準点	

基 準 点 座 標 一 観 表					
点名	X座標	Y座標	標 高	ジオイド高	種 別
NO. 0820068	-00000. 000	-00000. 000	000. 000	00. 000	既設 2級基準点
NO. 0830292	-00000. 000	-00000. 000	000. 000	00. 000	既設 3級基準点
NO. 0830293	-00000. 000	-00000. 000	000. 000	00. 000	既設 3級基準点
NO. 0830294	-00000. 000	-00000. 000	000. 000	00. 000	既設 3級基準点
73-40042	-00000. 000	-00000. 000	000. 000	00. 000	4級基準点
73-40047	-00000. 000	-00000. 000	000. 000	00. 000	4級基準点
73-40048	-00000. 000	-00000. 000	000. 000	00. 000	4級基準点
73-40049	-00000. 000	-00000. 000	000. 000	00. 000	4級基準点
73-40050	-00000. 000	-00000. 000	000. 000	00. 000	4級基準点

令和〇年〇月〇日標高改定済み

平均縮尺係數 (0.99000)



市有地と隣接する土地との境界は、  
本図朱書のとおりであることを認めます。

令和 年 月 日

30番、20番2の所有者

### 同意欄（住所・氏名記入欄）

横13cm・縦3.5cm程度



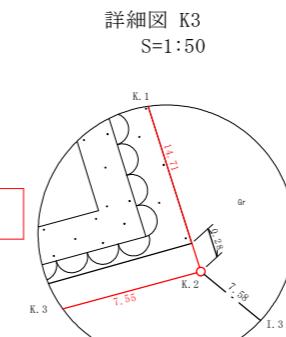
柴野元鳥田町  
10番1、11番1の所有者

同意欄（住所・氏名記入欄）

横13cm・縦3.5cm程度

### 同意欄（住所・氏名記入欄）

横13cm・縦3.5cm程度



## 資產管理課使用欄

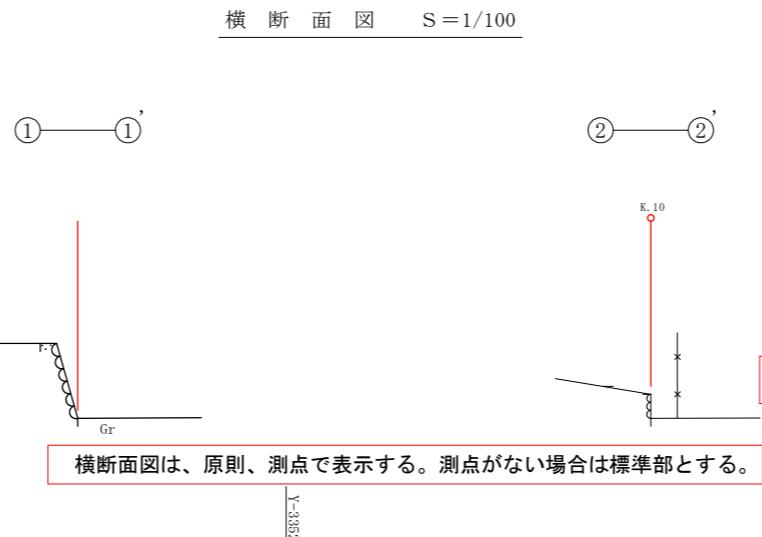
横10cm・縦5cm以上

1 種別表示例

(点名)	(種別)
K. O. 既K. O.	: ポイント、※民有杭
P. O. 既P. O.	: プレート
市C. O.	: 市有財産明示 C. 杭
市K. O.	: 市有財産明示 ポイント
土P. O.	: 土地境界明示 プレート etc

※民有杭、プレート等の場合はK点とする。

2 複数の境界明示種別の接続がある場合  
1+O ▲ 2+O ▲ 等とする



無番地の内、一括譲与財産の場合に表示

件名	土地境界明示書
所在地	北区柴野中烏田町30番, 20番2 <b>本市所有地をすべて記載</b>
名称	名称は資産管理課に お問い合わせください
実測年月日	令和 年 月 日
縮尺	1/250
決定年月日	令和 年 月 日

測量業者名  
○○土地家屋調査士事務所

主任技術者名 ○○ ○○

卷之二